

いずかし

文責 久保



H28.12.22NO.9

みんながってみんないい 十二月全校集会 校長講話より

今日は、星野富弘さんについてお話します。昭和二十一年、群馬県生まれの星野さんは、大学卒業後、体育教師として中学校に赴任。ところが、そのわずか2か月後、マツト運動の指導中、頸椎を損傷するという重大な事故に遭われ、首から下が動かなくなりました。星野さんは、深い悲しみと絶望感に見舞われ、しかし、お母さんや友だち、看護師の人たちが一生懸命励ましてくれました。



首から下が動かない星野さんは口で筆をくわえて字を書いてみました。最初は、よだれで枕がビショビショ濡れ、一文字書くだけで、吐き気と熱が出るほど厳しいものでした。四か月もすると手紙を書けるようになり、その後、身近にある花を題材に絵を描き始めました。今では、このような素晴らしい絵や詩をつくり、群馬県と熊本県に星野富弘美術館がつくられるほど有名な画家として活躍されており、多くの子どもたちに生きる勇気と希望を与えていらつしやいます。

実は、私は左腕のない五年生Mくんを担当したことがあります。幼いころ事故に遭い、左腕に義手をはめていたMくんは、ソフトボールでは、ボールをとって、素早くグローブをわきに挟んで投げなど上手でした。でも、体育の学習では、挑戦してこなかったものが二つありました。それは、跳び箱と水泳でした。でも、コツを伝え、皆が励まし、支えてくれ、跳び箱六段を初めて跳びました。また水泳でも、義手を初めて外した姿を皆に見せ、二十五メートルを見事に泳ぎ切りました。片腕がないからだめだろうとあきらめていたことに挑戦し、一つ一つを自信に変えていったMくんの姿とクラスメイトの友情は、今でもはつきりと覚えています。



金子みすゞさんの詩「みんながってみんないい」を読みましよう。世の中には、身体の不自由な人、目や耳、コミュニケーションなど、様々な障がいを持ち、一生懸命生きていく方がたくさんいらっしゃいます。そういった障がいがある人もない人も皆が仲良く元気に暮らせる社会をつくらうと、今「くまもとハートウイーク」が開催されています。ぜひ、皆さんもこの機会に「子どもたちの感想」を読んでください。

子どもたちの感想

☆星野さんは、体育の先生になって大きな障がいを持たれ、悔しいと思いました。でも、口で字を書きすべしと思えました。
(三年 佐井藤康生さん)

☆私はできないことはすべしと思えました。星野さんはあきらめなかったからすべしと思えました。首から下が動かないのに、口で字を書いたというのを聞いて、驚きました。
(三年 高橋望美さん)

☆口で花、植物を描いた本を見て、きれいに描けていたので、驚きました。図書室にあると聞いたので、借りて読んでみたいと思えました。
(四年 西田美咲希さん)

☆口で絵や詩を書くなんてすごいと思えました。美術館もあるとすべしと思えました。いつかその(芦北にある)美術館に行きたいと思えました。
(四年 和田優輝さん)

☆私は、星野さんのことを初めて知りました。でも入院して四か月で口でカタカナを書いていたのがすごいと思えました。私も、頑張っているいろいろなことに挑戦してみようと思えました。
(五年 永田優生さん)

☆僕は、お話を聞いて、自分が自転車の車輪に足を巻き込んだ事故を思い出しました。保育園では遊べなかつたので、ひまどした。星野さんは、僕よりもつらかつたと思えました。
(五年 中村一翔さん)

☆左腕がないM君が、跳び箱六段を跳べたからいろいろなことに挑戦する気持ちに驚きました。僕もMくんみたいに、いろいろなことに挑戦して、できるようにになりたいです。
(六年 川口惺己さん)

☆何でもできる人なんていません。不得意なことがあるのも必ず得意な、いいことがあると思えます。この世の中がそれぞれ違うのを認めて受け入れられるようになると思います。いじめや差別は絶対にしてはいけないと改めて思いました。
(六年 江川結夏さん)

☆いずかし集会

十一月三十日(水)午後から、各学年でこれまで学習してきたことを歌や劇、プレゼンなどにまとめて発表するいずかし集会を開催しました。子どもたちは、生活科や総合的な学習の時間、集団宿泊・修学旅行等で学んだことや、感動したこと、心に響いたことを届けようと、一生懸命発表してくれました。今年、「ビリーブ」を歌い上げましたが、いかがだったでしょうか。お忙しい中、たくさんのご来場とご声援ありがとうございました。

☆能楽公演

文化庁主催「文化芸術による子供の育成事業」を七日(水)本校体育館でおこないました。来校されたのは、京都能楽囃子方同明会の方々。笛や小鼓、大鼓、太鼓の四つの楽器を使い、「気合」を込めて演奏されるその迫力に、皆驚きました。児童たちも目を輝かせていつしよに「ヤーツ」「オーツ」など掛け声を発したり、小鼓を演奏したりして和楽器の響きを堪能しました。



School Hot News

☆ようこそゲストティーチャー
各学年の教科や総合学習では、点字学習や理科ネットワーク事業、たばこの害について学ぶ防煙教室など、その道の専門家の方々(医師や大学の先生、関係団体等)にゲストティーチャーとして来校いただき、授業を行っていただきました。

理科支援ネットワーク事業
点字学習
防煙教室



理科支援ネットワーク事業



点字学習



防煙教室

☆避難訓練(火災発生想定)

十九日(月)2校時、職員室で火災が発生し、放送機器が使用できないという想定した避難訓練を行いました。運動場に避難した後、体育館で、火災に関する講話や消火器の使い方について説明し、火の用心を全校児童に呼びかけました。



避難訓練

☆人権集会

十二月十日の世界人権デーにちなんで、人権について考える人権集会を低・中・高学年の三つに分かれて行いました。いじめや差別がいかに人を傷つけるか日頃考えていることを作文にまとめ、学年代表が発表しました。写真は、その返しを活発に行っている高学年の様子です。



人権集会

おしらせ

◆県善行児童優秀賞
六年生の木村七海さんが、植柳盆踊り保存会の活動に低学年の時から長年取り組んできたことが認められ、県教育委員会から表彰されました。

◆どんとやの開催
二十七日(火)から冬休みに入ります。クリスマスやお正月など、楽しみな行事が続きますが、一月八日(日)には、PTA主催による恒例の「どんとや」が、小学校近くの球磨川河川敷で開催されます。ご協力をよろしく願います。



1月の主な予定

- 1日(日) 元日
- 4日(水) 仕事始め
- 7日(土) どんどや準備
- 8日(日) どんどや
- 9日(月) 成人の日
- 10日(火) 3学期始業式
- 11日(水) 校内研修、がっちりスタディー
- 12日(木) 委員会
- 13日(金) 発育測定(～17日)
- 16日(月) 代表委員会、環境美化活動
- 19日(木) 持久走大会、クラブ
- 20日(金) 児童集会
- 24日(火) 3年健康教室
- 25日(水) 職員会議、がっちりスタディー